



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」
Engage Rotary Change Lives

2013-14年度 RI会長／ロンD.バートン RI.D2590ガバナー／市川緋佐磨 横浜旭RC会長／安藤公一

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2014年1月22日 第2135回例会 VOL. 45 No. 27

■司 会 SAA 後藤 英則

■開会点鐘 会 長 安藤 公一

■齊 唱 手に手つないで

S L 市川 慎二

■出席報告

会 員 数	33名	本日の出席数	28名
本日の出席率	90.32%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

齋藤、鈴木

■本日の欠席者

青木、内田（横浜鶴峰 RC）

■ビジター

佐藤 利明様（横浜鶴峰 RC）

■ゲスト

高坂 哲也様（横浜市消防局旭消防署長）

■会長報告

今週月曜日に大寒を向かえこれから半月後に立春です。相変わらずの厳しい寒さが続いておりますが、暦の上では春までもう少し、皆様御身体にお気をつけ頂きこれからも元気にお過ごし頂きたいと思っております。このところノロウィルスが全国的に猛威を奮っており、集団感染のニュースも毎日のように耳にします。また、インフルエンザ患者数も先週は先々週比2.7倍となったとのニュースもありました。とにかく頻繁に手洗い、うがいをしっかり行いましょう。ノロは低温時に活発化する

ウィルスらしく、寒さで体力を奪われている時に襲ってくる厄介な奴です。皆様くれぐれもお気をつけ頂きたいと思っております。あと2週間余りで始まるソチ冬季五輪でスポーツ界は盛り上げてきているようです。17歳の高梨沙羅の女子ジャンプや男女フィギュアスケート、スノーボードハーフパイプ、女子モーグル、スピードスケート、ノルディック複合等々楽しい競技が多々あります。いままで積み重ねてきた厳しい練習の成果をいかに発揮されんことを祈ります。

今日は、旭消防署長高坂様の卓話です。楽しみに拝聴したいと思います。宜しくお願い致します。鶴峰 RC の佐藤会長ようこそお出で頂きました。

○地区関係

1) 来週金曜日 1/31 の第5グループ8クラブ合同例会です。お申込頂いた13名の方々、宜しくお願い致します。

2) 第4、第5グループのIMは3月6日(木)です。皆様の参加を募るため、来週1月29日の例会にホストクラブである瀬谷 RC の柳沼さんと稲葉さんがお越し頂けるとの連絡がありました。またその時に、ご講演頂く原田義之氏の著書「輝く瞳に会いに行こう」幻冬舎 1,365円を同氏の活動（タイの山岳民族への就学支援）の協力を兼ねてクラブとして数冊まとめるの購入依頼がきております。ご協力頂ける

方は、これから回覧を回しますので、購入希望欄に○をつけて下さい。よろしく願い致します。

3) 3月29日(土)にローターアクト主催のインターアクト卒業式の案内が参りました。場所は捜真女学校9:00～16:30です。2/20 締切

4) 2月1日(土)に交換留学生のオリエンテーションが14時からブリーズベイホテルで開催されます。今回はナムフォン本人のみの参加となります。

5) 第一、第二、第三ゾーン合同の会員増強セミナーが3月19日(水)10時～16時にホテルオークラで開催されます。その案内が地区よりまいりました。締切は2月10日。当クラブの例会時と重なりますが、私が出席する予定です。その際の例会は増田次期会長にお願い致します。

6) 第15回ロータリー国際囲碁大会、4月19日～20日に台湾、中歴市サウスガーデンホテルで開催の案内がロータリー囲碁同好会よりきております。

7) 「意義ある業績賞」候補プロジェクト募集の案内が再度地区よりきております。締め切りは1月27日(月)必着。これが1月18日に再送されてきたことは、地区内での応募が極めて少ないのではないかと想像されます。我がクラブが3年に及んで実施した東日本大震災被災地支援チャリティーコンサートを提出したいと考えます。これから提出資料を新川さん、福村さん、千葉さん達と共に纏めてみたいと思っております。

○クラブ関係

1) 2月の第二例会2月12日に体験例会を開催します。お心当たりのある方は是非ご友人にお声を掛けて頂き、お連れ下さい。

2) 先週水曜日、1/15夜に行われたクラブ協議会において上半期の各委員会のレビューを伺いました。全ての委員会において当初の計画どおり遂行できており、当クラブの皆様の活躍とご尽力に改めて敬意を払うと共に心より感謝申し上げます。これから半年弱の間、宜しく願い致します。

3) 先週充分にお話できなかった1月8日(水)に行われた理事役員会の議事録を本日お渡しした週報最後頁に記載してあります。

大谷会員・山崎会員ご両名の退会は誠に残念

です。このような大事な事をお伝えできなかったことを深くお詫びを申し上げます。

4) 1月12日(日)に行われた第3回東日本大震災復興支援チャリティーコンサートの記事が本日お配りしたタウンニュース裏面左下に掲載されております。

■横浜鶴峰 RC より 鶴峰 RC 会長 佐藤利明

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。既にお耳に達しておられるとは存じますが、先般の鶴峰 RC の総会において、2014年6月末日をもってクラブ終結という結果になりました。

ご挨拶が遅くなりましたが、今後は貴クラブのご厚情をお願いいたしまして、ロータリー活動を続けていく会員を宜しく同志としてお迎えいただければと考えております。

何分よろしくご配慮いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

■会員増強委員会

内田 敏

○お願い

日頃は委員会活動にご協力いただきありがとうございます。さて、2/12は今期2回目の体験例会となっております。会員各位におかれましては招待者の発掘にご尽力いただいているとは思いますが、旭クラブの状況は皆様よくご存知の事と思います。今日の段階でどのような状況にあるのか、ご回答いただきたくお願い申し上げます。

アンケート用紙の内容

- 1) これまで何人の方にアプローチしましたか。
- 2) どんな方にアプローチしましたか。
- 3) アプローチの反応はどうでしたか。

より具体的にお書き下さい。

■広報・R 情報委員会委員会 五十嵐 正

1) 皆さんご承知のように、クラブのHPが昨年7月からスタートしております。先日のクラブ協議会でご指摘を頂きましたが、クラブ週報も詳細まで閲覧出来るようになっております。ニコニコなど全て読めますので、ニコニコなどにあまり私的な内容記載についてはご注意願います。

これからも、より良い内容に務めますので、ご意見よろしく願います。

2) 昨年委員会からの引継ぎ案件ですが、米山梅吉記念館訪問の企画につきまして、本日アンケートを行います。ご協力願います。

■ IM 実行委員会

市川 慎二

皆さんこんにちは。先日 1/17 金に IM 実行委員会があり、五十嵐会員と出席してまいりました。本日は IM のリーフレットが完成致しましたので皆様にお配り致します。テーマは「今改めて問われるロータリーの魅力とは」として、今回の目玉であります、直前 RI 会長、田中作次さんの特別講演。原田義之さんの基調講演となります。

以前お話致しました原田さんの著書「輝く瞳に会いに行こう」のご購入をよろしくお願い致します。次回 1/29 (水)の例会に、キャラバン隊がおみえになります。

■ ニコニコ BOX (会員敬称略)

佐藤 利昭 (横浜鶴峰 RC) / 平素から大変お世話になっております。本日はご挨拶に伺いました。又、旭消防署高坂署長様のお話を拝聴すること楽しみに参りました。

安藤 公一 / ①旭消防署長高坂様、ご多忙にもかかわらずお出でいただきありがとうございます。卓話宜しくお願い致します。②鶴峰 RC 佐藤会長ようこそ。

福村 正 / ①旭消防署長高坂哲也様をお迎えして。②鶴峰ロータリークラブ佐藤会長をお迎えして。

太田 勝典 / ①旭消防署長高坂様、卓話楽しみです。②鶴峰 RC 佐藤様、旭区防災協会会長職も御苦労様です。

綿貫 守一 / 寒さ厳しい折、皆様にはお体を大切に。

安藤 達雄 / 高坂旭消防署長さん、本日はお忙しい中、卓話にお越し頂きありがとうございます。

増田嘉一郎 / 旭消防署長高坂哲也様、ご多忙のところ卓話をいただきありがとうございます。楽しみにしています。

吉原 則光 / 高坂署長様、ご多用のところ卓話いただき有り難うございます。よろしくお願いします。

青木 邦弘 / 高坂様、本日はよろしく申し上げます。消防団ではお世話になっています。

杉山 雅彦 / 高坂署長、ようこそお越し頂きました。卓話、楽しみにしております。

佐藤 真吾 / 旭消防署長高坂哲也様、本日はお忙しい中、ご来訪いただき有り難うございます。卓話よろしくお願い致します。

岡田 清七 / 高坂哲也消防署長さんをお迎えして。

市川 慎二 / 旭消防署長、高坂様、本日の卓話宜しくお願い致します。

■ 卓話「防災講演 (要旨)」

旭消防署長 高坂 哲也様



旭消防署長の高坂です。横浜旭ロータリークラブの会員の皆様には、日頃から、地域の防火防災にご尽力いただいておりますこと、また、消防行政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

本日は、大震災時におけるライフラインの状況について、お話させていただきます。

平成 7 年 1 月 17 日に発生しました阪神・淡路大震災から 19 年、また、東日本大震災から 3 月で 3 年が経とうとしています。これらの大震災で、ライフラインが途絶したことにより、日常生活や事業所の活動に大きな支障がでたことは皆様の御記憶にあらうかと思えます。

ライフラインとして、まず思い浮かべるのが、電気、ガス、水道、電話だと思えます。そのほかに、道路、鉄道の交通機関などもライフラインに入ると思いますが、この二つの大震災の復旧状況を比較しながらお話を進めていきます。資料にある復旧状況は、国や被害を受けた県などのホームページから抜粋したものです。

まず、日常生活の多くを依存しています電気の復旧状況ですが、復旧日数に阪神・淡路大震災では 6 日、東日本大震災では東北電力管内で 99 日かかっています。阪神・淡路大震災が局所的な被害であったことから、短い日数での復旧であったことに比べ、東日本大震災では岩手県、宮城県、福島県など広域的に被害が発生したことや、津波による被害が大

きかったことで復旧に時間がかかったのではないかと思います。

都市ガスは、阪神・淡路大震災では84日、東日本大震災では53日となっています。東日本大震災の復旧日数が短くなったのは、阪神・淡路大震災の教訓が生かされたのではないかと思います。

水道は、阪神・淡路大震災、東日本大震災とも90日です。水道の復旧にはかなりの時間がかかりますので、長い間不便が強いられます。

下水道は、阪神・淡路大震災では93日、東日本大震災では下水処理場や配管が壊滅的な被害を受けたことにより、現在も復旧中となっています。下水処理場などの建替えにかなりの時間がかかっているようです。下水道の配管などが壊れると、トイレが使えないこととなります。避難所では大変な苦労があったと聞いています。

通信（電話）は、阪神・淡路大震災では14日、東日本大震災では津波の被害を受けた一部のエリアを除き、4月末までに復旧しています。阪神・淡路大震災の時には、固定電話が使えなくなりましたが、現在のように普及していなかった携帯電話での通話が有効でした。この後、行政でも携帯電話を導入していきました。また、携帯電話は現在では当時と比較にならないほど普及しています。東日本大震災では、携帯電話は通話制限され、なかなかつながりませんでした。ラインやツイッターが有効であったと聞いています。

道路は、阪神・淡路大震災では、映像として記憶にあるかと思いますが、高速道路が横倒しになり、大きな被害を受けました。阪神高速道路は、復旧にかなり時間がかかり翌年の平成8年9月30日の復旧となりました。国道は、当日に復旧しており、他都市から応援にいった消防車や救急車などの緊急車両に制限されましたが、通行することができました。東日本大震災では、高速道路は4月1日までに、国道は4月10日までに応急復旧が完了しています。復旧の生命線になりますから、迂回路などの設定はありますが、かなり早い段階で復旧したのではないかと思います。旭区を横断している保土ヶ谷バイパスは国土交通

省の管轄になりますが、消防署としては早い段階での復旧を期待しています。

鉄道は、阪神・淡路大震災ではJR東海道新幹線は4月8日に、東日本大震災ではJR東北新幹線は4月29日に復旧しています。旭区内には相模鉄道が通っていますが、電車が止まると社会活動に大きな支障が発生します。昨年の台風で通勤時間帯に相模鉄道が止まり、出勤するのに苦労したことを記憶しています。このほかにも、空港や港湾機能、物流がストップすれば社会全般に様々な影響が出ますし、銀行やATMが停止になれば、お金をおろすこともできません。

東日本大震災の大きな特徴であったのが、ガソリン、灯油などの燃料が不足したことです。東北、関東にある9製油所中6製油所が停止し、2箇所で火災が発生しました。停止した6製油所は一部の稼働再開を含みますが6月4日に復旧しています。震災当時、私は消防本部で市内の事業所の被害状況を収集する担当をしていましたが、製油所ではタンカーが接岸する岸壁、タンクや配管に被害が発生し、その点検などに時間がかかったのを記憶しています。また、燃料不足によりガソリンスタンドに長蛇の列ができたことは今でも記憶に残っています。この時の教訓を生かして、消防では、昨年の4月に自家給油取扱所を市内5か所に設置し、いざという時に備えています。

また、工場の閉鎖や物流がストップすることにより、サプライチェーン（部品供給網）が寸断されて、事業活動に大きな支障ができました。行政でも、東日本大震災後に、BCP（事業継続計画）を作成し、大地震発生時の対応をあらかじめ定めています。是非、皆様の事業所におかれましても、ライフラインの復旧に時間がかかることを念頭に、いざという時に備えてBCP（事業継続計画）を作成しておくようお願いします。本日はご清聴ありがとうございました。

■次週の卓話

「ロータリー平和フェロシップと南アフリカ学習支援について」

高梨能理子様（新横浜RC、国際奉仕委員長）

週報担当 内田 敏